

2025年2月21日 第3502回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 高橋 会長
<斉唱> 「それこそロータリー」
<ゲスト紹介> *海上自衛隊横須賀教育隊司令 1等海佐 大賀 康弘 様
*海上自衛隊横須賀教育隊前任伍長 海曹長 袴田 真弓 様
*海上自衛隊横須賀教育隊 3等海曹 布施 賢一 様
<ビジター紹介> *横須賀ローターアクトクラブ 会長 津村 健斗 様
* 〃 副会長 小磯 圭悟 様

- <会長報告> *第8回理事役員会 報告
*ガバナー事務所から
・IA委員会・アクターズミーティング開催のご案内について
3月15日(土) 13:00~13:30 IA委員会
14:00~17:00 アクターズミーティング
場所：第一相澤ビル8F「会議室」
・第9回日台ロータリー親善会議 札幌大会のご案内について
5月31日(土) 登録 友愛の広場 13:00~
式典 15:30~ 懇親会 18:00~
場所：グランドメルキュール札幌大通公園

<幹事報告> *例会後第2回被選理事役員会 開催

<出席報告> *出席委員会 角井副委員長より2月21日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
117名	109名	67名(3名)	42名	9名	69.72%

メイクアップ： 勝見、小林(一)両会員 被選理事役員会出席 兼城会員 理事役員会出席
齋藤(秀)、齋藤(眞)、鈴木(之)各会員 地区委員会出席 大野(健)会員 三浦RC出席
石田会員 RAC、IAC合同例会出席 萩原会員 RAC出席

<ニコニコ報告>

- ・横須賀RAC会長 津村健斗様、副会長 小磯圭悟様
いつも大変お世話になっております。本日はロータリーのことをより勉強させていただきます。よろしく願いいたします。
- ・三 役 海上自衛隊横須賀教育隊司令 1等海佐 大賀康弘様、前任伍長 袴田真弓様、3等海曹 布施賢一様、本日はようこそお越し下さいました。大賀様、卓話宜しく願い致します。
- ・大 石、児玉、荻山、吉田(久)、北村、八巻、松本(明)、渡辺、佐久間、濱田、江沢、久保田、植田、梁井、徳永、小佐野、杉浦、飯塚、根岸、澤田、前田、真野、田邊、川名、三堀、田中、齋藤(倫) 各会員
海上自衛隊横須賀教育隊司令 1等海佐 大賀康弘様、前任伍長 袴田真弓様、3等海曹 布施賢一様、ようこそお越し下さいました。卓話もどうぞ宜しく願いいたします。
- ・三 役 横須賀ローターアクトクラブ会長 津村健斗様、副会長 小磯圭悟様ようこそお越し下さいました。ごゆっくり例会をお楽しみください。
- ・木 村、加藤(倫)、八巻、小林(倫)、椿、角井、権田、新倉、田邊、柴田、比護 各会員
横須賀ローターアクトクラブ会長 津村健斗様、副会長 小磯圭悟様ようこそお越し下さいました。どうぞ例会をお楽しみください。

- ・北村 会員 入会月祝いとして
- ・8番テーブル田邊マスター、濱田サブマスター 2月19日に鐵丸にて8番テーブルミーティングを開催しました。高橋会長にご出席頂き静かなミーティングになりました。
- ・植田、山田 備、土田、高橋 各会員 8番テーブルミーティングを2月19日に鐵丸で開催致しました。シャンパンは出ませんでしたがお長に参加頂きました。田邊テーブルマスター、濱田サブマスターおつかれ様でした。小澤長幸会員お土産ありがとうございました。
- ・竹株、八木、浅葉、北村、濱田、久保田、三井、鈴木 備、寺田、長尾、田邊、齋藤 備、小山 備 各会員
本日のタウンニュースに岡田英城会員の会社がゴールドスポンサーとなっているウクライナ国立オペラ歌劇場オーケストラの公園が紹介されています！素敵な取り組みですね！
- ・岡田 備 会員 ニコニコにてウクライナ国立オペラ歌劇場オーケストラ日本公演取り上げて頂きありがとうございます。首席客演指揮者吉田裕史氏と懇意にさせて頂いている関係で少しだけお手伝いさせて頂きました。早く平和が訪れてほしいですね。

<卓 話>

～ 海上自衛隊の教育と今どきの若者 ～

海上自衛隊横須賀教育隊司令
1等海佐 大賀 康 弘 様

皆さまこんにちは。海上自衛隊横須賀教育隊司令の大賀でございます。本日はこのような場をいただき、大変感謝しております。

本日は、今どきの若者に対する教育雑感ということでお話をさせていただきたいと思っております。

皆さま横須賀教育隊はどこにあるかご存知でしょうか。竹山でございます。ここは三浦半島の東側ですが、横須賀教育隊は西側に所在している部隊であり、東と西では景色が違います。こちらは東京湾を望んで横須賀の地方総監部、米海軍基地がありまして本当に海上自衛隊の街という感じです。一方、西側の方は、陸上自衛隊の竹山駐屯基地という大きな基地があり、そこの一角に横須賀教育隊がございまして、そこは本当に陸上自衛隊の街のような雰囲気です。本日はこちら海上自衛隊の街の方に来て、卓話ができるということで大変嬉しく思っております。

この写真ですが、これはカッターを漕いでいる様子です。この漕いでいる人たちが今からお話しする若者たち、新入団員です。このカッターのウォールは約10キロあります。それを腕だけで漕いだらすぐ疲れてしまうので、体全体で、自分の体重でオールを引きます。彼らはこれまでカッターを漕ぐことなど全くやったことはなく、数回の訓練を積み重ねることによってこのような形になります。そのカッターの背景遠方に富士山が見えていますけれども、三浦半島の西側に位置する横須賀教育隊から見える富士山に沈む夕日は非常に美しく、本当にいいところで教育させてもらっているなあと感じております。



では早速本題に入ってきます。海上自衛隊にて最初に教える基本教育の内容は3つ(心、技、体)です。海上自衛隊の横須賀教育隊においては、まず心の部分、海上自衛官、あるいは社会人としての心というのをしっかりと教育するようにしています。その次に重要視しているのが体です。健康を管理する部分ということで、心と体というのは一体ですけれども、どちらかというとは心の部分を重要視しております。技の教育としては技能教育があります。海上自衛隊においては術科学校が4つありまして、そこで技を磨きます。これが海上自衛隊の基本教育になります。

海上自衛隊の教育の特色をお話しさせていただきます。教育の多様性という観点では、海上自衛隊は、水上艦艇、潜水艦、海上と言っておきながら飛行機も持っており、様々な

職種があり、それらの装備に応じた教育が必要です。それから、近年、装備機器が高度化し、その装備機器に応じた教育が必要になってきております。その他、特殊な環境下での知識、技能の習得も行います。それから、教育の重層性ということで、水上艦だけを知っておけばいい、とか、私は飛行機乗りだから船のことは知らないというようなことがないよう、隊員の技能に重層性を持たせるよう教育を進めております。

次に、海上自衛隊の教育の概要です。新入団員教育、術科教育、選抜とあり、新入団員教育については今私が紹介しております横須賀、広島県の呉、長崎県の佐世保、京都府の舞鶴の4カ所で行っております。この4つの教育隊において自衛官候補生、一般海曹候補生の教育を行っております。その他、教育集団で主に飛行機のパイロットの養成などを行っております。江田島の幹部候補生学校では幹部の候補生を教育しております。

次に幹部の教育体系について、大卒後の22歳の幹部候補生の場合についてお示しします。22歳で幹部候補生になって1年間は、江田島での訓練に明け暮れ、その後約半年の遠洋練習航海に臨んだあと、それぞれ1年間でいろいろ配置が変わります。通信の役職に就いたり、船の大砲がありますけど、そこから射撃するシステムの勉強をしたり、エンジンの勉強をしたり、様々な学習のための学校に入ります。それから30歳ぐらいで中級課程という教育プログラムがあり、そこでまた1年勉強します。それからしばらくして、試験を受け、選抜された後に、指揮幕僚課程にてさらに二佐、一佐になって指揮官のための勉強をします。その後40歳を少し過ぎたところで、海上自衛隊の高級課程と統合幕僚学校にて陸空の軍事も含めた作戦や戦略、諸外国の情勢なども含めて学びます。これが教育体系になります。

次にお示ししますのが准曹士の教育体系ですね。海曹士の教育の体系の概要になります。横須賀教育隊では一般海曹候補生、自衛官候補生として入隊します。横須賀教育隊では約900人の学生を受け入れる用意がございますが、昨今の入隊者はその6割から7割ぐらいです。入隊者は、横須賀での約5ヶ月の教育の後、各部隊に配属されます。横須賀教育隊を出たから横須賀の部隊に行くのかとよく言われますが、そういうわけでもなく、佐世保、呉、教育隊のない青森県のむつ市にあります大湊にも配属されることがあります。教育隊で教育を終えた後は、部隊でそれぞれの職種に分かれて勤務をした後に、先ほど申し上げた術科学校で自分の術科を学び、また横須賀教育隊に戻ってきて、今度は3曹になるための教育を受けます。その教育を受けた後に晴れて3等海曹となり、初めて自衛隊の正規雇用の形になります。初任海曹課程を終わった後、より高度な術科を学びます。技術を学ぶ課程に入校し、それから彼らが行く最後の課程として海曹上級課程があります。3週間強のプログラムで、ちょうど今、横須賀教育隊でも実施しております。若い人は40前ぐらい、ちょっと上の方は50過ぎぐらいの人などが集まって、3週間、指揮官などの幹部の補佐をするための勉強をします。もう上級階層になっているので、自分が部下をどのように指導していくかをこの海曹上級課程では学んでいます。これが海上自衛隊の教育概要になります。

ここまで私がご説明した資料は、海上自衛隊の幕僚幹部が作った資料です。ここからは私の私見で、海上自衛隊は何ら関与していないということをご了承願います。

今どきの若者の現状ということで話させていただきます。今どきの若者というと、皆さま、その言葉のニュアンスはネガティブなイメージでしょうか。ポジティブでしょうか。実際に自衛隊に入ってきたばかりの子たちに、“今どきの若者は”と言われたことがあるか、と問うと、ありますと答えます。では、それはどのようなニュアンスだったか、と聞くと、8割ぐらいはネガティブだった、と答えます。若干ポジティブの意味合いもあると思っていましたが、今どきの若者はなっていないとか、考えていることが分からないというような意味合いが強いのだと思います。

今どきの若者は、別の呼び方で“Z世代”などと言われています。私は昭和43年生まれで1989年(平成3年)に海上自衛隊に入隊しましたが、その頃何と言われていたかという“新人類”と言われていました。“Z世代”と同じように、別の人種みたいなことを言われていたわけですが、その我々が今は司令官などになり、おそらくたくさん不具合はあったんでしょうけれどもここまでなんとかやっているということで、君たち“Z世代”とか言われているけど、(少しは気にしてもらった方がいいけれども)このままのびのびと育ててほしいというようなことを話しているところです。

今どきの若者が受けてきた経験や特徴についてお話しします。今どきの若者は、ゆとり教育を受けてきています。ゆとり教育は2002年から2011年までの義務教育で行われましたので、その教育を受けた世代としては21歳から38歳であり、ちょうど教育隊に入隊してくる若者に該当しています。それから、コロナです。コロナ禍では、学校が休みだったり、授業をオンラインで受けるなどの経験をしています。最近ではウクライナとガザの状況をテレビで見えています。また、デジタル、情報、金融リテラシーの面については少なくとも私たちよりは優れています。私たちは一切教育を受けていませんが、今は家庭科とかでやるんですなどと話してくれます。入隊して何がしたいかと書面で聞くとiDeCo(イデコ)がしたいとか、NISAがしたいとか書いてくれます。次は、ちょっとネガティブですが、コミュニケーションが取れず集団生活が苦手な人がいます。横須賀教育隊は6人部屋です。昨日まで1人部屋だったのが6人でベッドを並べて寝ます。お風呂も大きなお風呂ですし、ご飯もみんなで並んでいただきますと言って食べます。これがどうしても苦手な人がいます。ごく一部、絶対に耐えられないという人がいますが、これを徐々に慣らしていくのが我々教育隊の使命だと思っております。それから最後、これは少し冗談ですけど、キラキラネームです。私は終業式などで成績優秀者などを表彰する時、このキラキラネームで読めず困っております。

コロナ禍、オンラインで授業を受けた経験のある彼らに、この横須賀教育隊の訓練や授業をオンラインでやることはできるか、と聞いてみたところ、いいですよと答えるかと思ったら、それはできません、ちゃんとここでみんなと生活するのが大事だ、と入隊してきて間もない学生が言ってくれました。オンラインで実施できる授業もあるかと思いますが、海上自衛隊は号令とか命令で個人や集団を動かす組織であります。特に船や航空機は多人数で人を動かします。そのために集団行動には慣れておく必要があります、私の私見ですが、オンラインなどで教科書や動画を見るだけでは学べない、養えない能力があると思っています。それは人と人が実際に触れ合うことにより培われる能力で、そのコミュニケーション力を鍛える場がまさに我々の教育隊ではないかと思っております。

では、教育隊でどんなことを学ぶのか、どのようにコミュニケーション力をつけるのかについてお話しします。教育隊では同期ができます。同期とは友人として仲良くなったり、時には若いので本当にぶつかります。そして教官からは、良くできたなと褒められたり、指導されたり、叱られたりします。そのような中で、人と人とのつながり方を身をもって学ぶことができます。加えて、水泳競技などを通じて勝つということ、他人に勝つということを目標に必死に訓練します。それは結果がどうであれ貴重な経験で、苦しい時一緒に頑張ったな、とお互いに言える経験が次につながるのだらうと思っています。また、小さな満足感、例えば、今日は早く毛布を畳むことができたとか、そういった幸福感、反対に、こうしておけばよかったなというような後悔とか、明日どうしようかなというような不安とか、そういった様々なことを感じることも、人として成長する上での重要な経験だと思います。それがコミュニケーションの土台になっていて、教官を大切に、教官が教え、新入隊員が教えられる。その新入隊員がまたいずれ教官になって次の新入隊員を教える。この人と人が接して教える／教えられる関係はこの組織を維持していく上で大切だと思っております。教育のオンライン化は教育隊での新入団員教育には向いていないと思っております。

最後になります。表示しています $6+3+3+4=16$ 、更に $16+4=20$ という数字の意味するところですが、これは先ほど示しました幹部の教育体系に関連します。 $6+3+3+4$ は小学校6、中学3、高校3、大学4で16年、 $16+4$ の4は、先ほど申し上げた高級課程を含む幹部の教育期間で、私は全て受けさせてもらいました。それが4年強で合計20年ですね。私はまだ60になっていませんが、これまでの人生の3分の1は学生だったことになり、日本、海上自衛隊はすごいなと思いました。

ということで、今どきの若者に対し、これから私はネガティブなことは極力言わないようにし、ポジティブなことを言い続けていこうと思っております。また、せっかく20年も教育を受けさせてもらい、部下もおらず責任はなく、何かあっても出動しなくてもいいような配置でやらせてもらいましたので、これからは国のため、皆さまのためにお役に立てることができればと思っております。これからも謙虚にやっていきたいと思っておりますので、引き続き、横須賀教育隊と、朝早くからこの辺りを歩いていると思いますが学生をどうぞよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。



<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 梁 井 康 市